

2021/05/12

東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構 (Kavli IPMU)
大阪大学大学院理学研究科

20名の科学者とアーティストの交流を見、聞き、思考し、交換する「ファンダ
メンタルズ バザール」を無観客生配信。

参加費無料。要申込。

2021年6月6日、東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構 (Kavli IPMU) は、科学技術広報研究会 (JACST) 隣接領域と連携した広報業務部会と共催、大阪大学大学院理学研究科の協力を受け、科学者とアーティストの交流を広く一般にひらく「ファンダメンタルズ バザール」を無観客生配信します。

(主旨)

ファンダメンタルズという呼称は、ファンダメンタルー基本、根本、基礎を追うことを行う人たちという意味で名付けています。科学と美術は、方法、出力、マナー、全てが大きく異なりますが、基本、根本、基礎を追うという1点においては等しいといえます。幾層もの異なりを飛び越えて、もし両者がその1点において正しくまみえることができたならば、それは"真理"や"普遍"に触れることであるでしょう。もし彼らがまみえるその場が広く一般にひらかれるならば、それは科学と美術が新たに社会とつながり直す試みとなるでしょう。初回となる今回参加するのは、公募にて集まった20名のファンダメンタルズ。(応募いただいた参加者からの要望で、事務局がコーディネートした科学者も含まれます)

(実施内容)

前日となる6月5日、科学者とアーティストは日本科学未来館(東京都江東区)に設営された20の展示ユニットにおいて、4つの島にわかれて自身の活動を他の科学者・アーティストに向けて発表します。こちらは非公開です。

翌6日、科学者とアーティストが交流を行うオンサイト会場(日本科学未来館、無観客)を生配信し、科学者とアーティストの交流を広く一般にひらきます。要参加登録。

6日の実施プログラム

① 科学者とアーティストの対話 配信(1セッション90分、全10セッション)

無観客で開催している会場での科学者とアーティストの対話を、1組ずつ生配信します。モ

デレートは哲学者が行います。

②科学者とアーティストの対話 ワークショップ (1セッション90分、全10セッション、定員若干名)

単に①の対話を聞くだけでなく、多様なバックグラウンドを持つ来場者と共にそれが自分にとってどういうことなのか考えてみる時間を持ちます。ゴールは設定しません。※参加登録とは別に時間指定での事前予約が必要です。来場者同士の対話は非公開となります。

① ②共通 1セッションのタイムテーブル

00:00-00:30 科学者とアーティストの対話 前半

00:30-00:40 来場者同士の対話/視聴者からの質疑

00:45-01:15 科学者とアーティストの対話 後半

01:15-01:25 来場者同士の対話/視聴者からの質疑

参加する科学者・アーティスト・哲学者：

アーティスト

うしお、木村亜津、黒沼真由美、澤崎賢一、古谷咲、前川紘士、水上愛美、山根一晃、山本篤、Nerhol

科学者

石河睦生 (医用工学)、石津智大 (神経美学)、一ノ瀬俊明 (都市環境学)、冨田秀一郎 (発生生物学)、中島啓 (幾何学的表現論)、波多野恭弘 (非平衡物理学)、藤田智弘 (天体物理学)、水元惟暁 (生態行動学)、湊丈俊 (表面界面科学)、Hannes Raebiger (物性物理学)

哲学者

梅田孝太 (ドイツ哲学)、桑原俊介 (美学)、小平健太 (ドイツ哲学)、永井玲衣 (倫理学)

イベント概要

タイトル：ファンダメンタルズ バザール

開催日時 2021年6月6日(日) 12:00-16:30

場所：日本科学未来館 7階 木星 (無観客生配信)

対象：高校生以上

参加費：無料

主催 科学技術広報研究会(JACST) 隣接領域と連携した広報業務部会

共催 東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構 (Kavli IPMU)

助成 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

協力 大阪大学大学院理学研究科

アートワーク：櫻井崇史 デザイン：牧寿次郎 会場制作：奥多摩美術研究所

参加方法

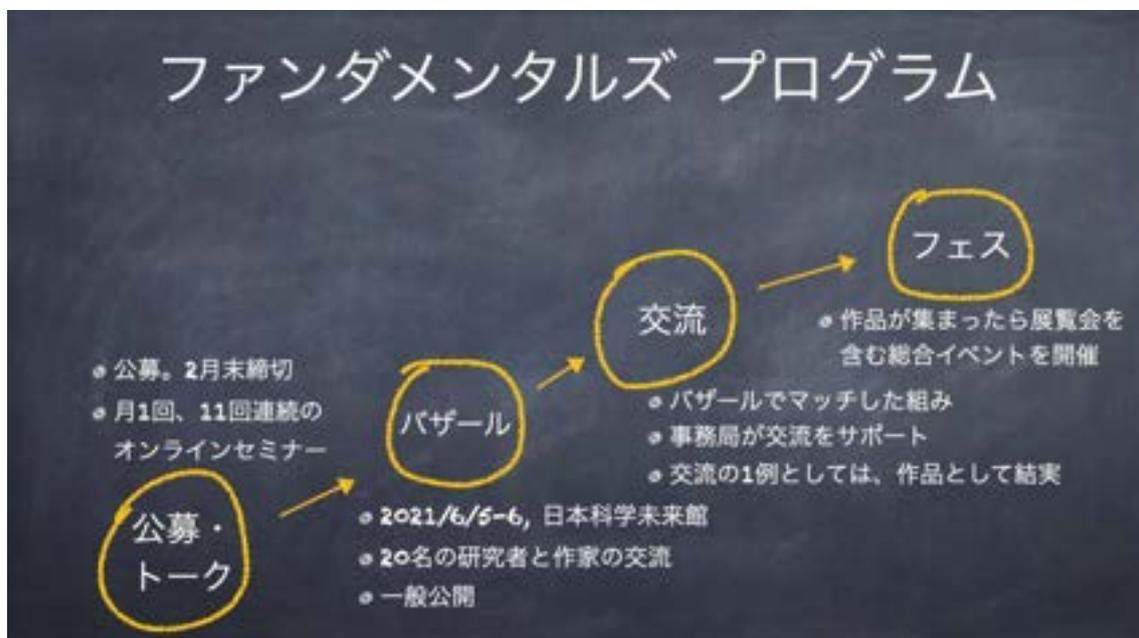
視聴には、ファンダメンタルズウェブサイトから視聴申込が必要です。後日のアーカイブ配信は予定していません。 <https://fundamentalz.jp>

②ワークショップへの参加には別途参加申込が必要です（6月3日申込締め切り）

なお、ご希望される方にはチラシと参加者総覧兼ポスターを郵送します。視聴申込み時に郵送先をお知らせください。

ファンダメンタルズ プログラムとは

ー 交流環境を整備する



より"適切"な科学像・美術像が結ばれることにより、科学と美術が広く"一般的"な存在になること、ひいては広く評価主義とは異なる評価体系が準備されること、アート&サイエンスの文脈において、"真理"探究としてのアート&サイエンスが立ち上がることを期待。

そのために5年間、実践的に次を試みます (1) 科学者・アーティスト間の汎用的な交流とその開示モデルを構築すること、(2) 科学者・アーティストの交流プラットフォームを形成し広く一般的に拡張していくこと、(3) まだ見ぬ真理を追うことの重要性について、広く世論の合意形成に努めること。

これまでに、2020年8月より毎月1回科学・人文・芸術系の専門家にファンダメンタルなトークを提供したオンラインセミナー「ファンダメンタルズ トーク」を開催。今年2月にはファンダメンタルズ バザールの参加者公募を行いました。

科学技術広報研究会とは

科学技術広報研究会（JACST：Japan Association of Communication for Science and Technology）は、研究機関や大学などの広報担当者が、所属する組織の枠をこえて、広報活動における課題を共有し、それらを通してお互いに助け合い、共に成長していくことを目指したインデペンデントな互助組織です。2007年に設立され、現在約130機関から約200名の広報担当者が参加しています。

隣接領域と連携した広報業務部会は、JACSTにある部会の1つで、大阪大学大学院理学研究科、東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構（Kavli IPMU）、人間文化研究機構、人間文化研究機構 総合地球環境学研究所、理化学研究所 脳神経科学研究センター（CBS）等に所属する広報担当者から成ります。例えば芸術や哲学など科学と隣接していると思われる分野と連携した広報業務を実践的に研究することを目的としています。

カブリ数物連携宇宙研究機構（Kavli IPMU）とは

2007年、文部科学省による事業「世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）」に採択され、東京大学をホストとして発足。世界中から集まった約100名の数学、物理学、天文学など3つの領域の研究者が連携し、宇宙の5つの謎；宇宙の始まり、終わり、何でできていて、どのような法則が働いているのか、我々は何故宇宙に存在するのか、の解明に取り組んでいます。2012年には米国 Kavli 財団から寄附を受けて、数物連携宇宙研究機構（IPMU）から、カブリ数物連携宇宙研究機構（Kavli IPMU）と改称。多数の国際共著論文と高被引用論文を輩出しています。2018年から素粒子論を専門とする大栗博司が機構長。2014年から、機構の研究者と、哲学・美術分野の専門家との交流プログラムを実施しています。

連絡先

東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構 広報担当 / 科学技術広報研究会 隣接領域と連携した広報部会 会長 坪井あや

E-mail：contact_at_fundamentalz.jp

*_at_を@に変更してください

TEL: 04-7136-5981 (固定)

ファンダメンタルズ Web サイト・SNS アカウント

Web: <https://fundamentalz.jp>

Facebook: <https://www.facebook.com/fundamentalz.B>

Twitter: http://twitter.com/fundamentalz_B

Youtube チャンネル: <https://www.youtube.com/c/ファンダメンタルズ>

ファンダ メンタル ズ

アート サイエンス
一見真逆に見える美術と科学。しかし、何か普遍に通じるものを追求するという点で両者は等しいのだ。彼らをファンダメンタルズと呼ぼう。

ファンダメンタルズ バザール

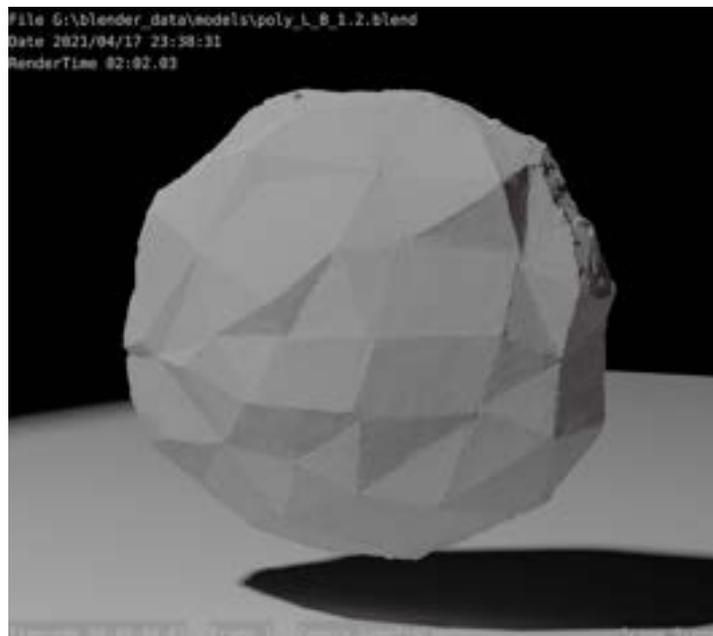
アーティストと
科学者
交流の展示

2021年6月6日(日) 12:00-16:30
日本科学未来館 7階 木星にて
無観客生配信

fundamentalz.jp

美術
うしお
木村亜津
黒沼真由美
澤崎賢一
古谷咲
前川絃士
水上愛美
山根一晃
山本篤
Nerhol

科学
石河睦生
石津智大
一ノ瀬俊明
富田秀一郎
中島啓
波多野恭弘
藤田智弘
水元惟暁
湊丈俊
Hannes Raebiger





ファンダメンタルズ

もし正しくまみえることができたならば

ファンダメンタルズという呼称は、【ファンダメンタル：基本、根本、基礎を追うことを行う人たち】という意味で名付けた。美術と科学は、方法、出力、マナー、全てが大きく異なるが、基本、根本、基礎を追うという1点においては等しい。幾層もの異なりを飛び越えて、もし両者がその1点において正しくまみえることができたならば、それは“真理”や“普遍”に触れることであるだろう。もし彼らがまみえるその場が広く一般に拓かれるならば、それは美術と科学が新たに社会とつながり直す試みとなるだろう。初回となる今回参加するのは、公募にて集まった20名のファンダメンタルズ。(応募いただいた参加者からの要望で、事務局がコーディネートした科学者も含まれます。)

ファンダメンタルズ プログラム

交流環境を整備する

より“適切”な美術像・科学像が結ばれることにより、美術と科学が広く“一般的”な存在になること、ひいては広く評価主義とは異なる評価体系が準備されること、アート&サイエンスの文脈において、“真理”探究としてのアート&サイエンスが立ち上がることを期待したい。そのために3年間、実践的に次を試みる。

- (1) 科学者・アーティスト間の汎用的な交流とその開示モデルを構築すること
- (2) 科学者・アーティストの交流プラットフォームを形成し広く一般的に拡張していくこと
- (3) まだ見ぬ真理を追うことの重要性について、広く世論の合意形成に努めること

ファンダメンタルズ バザール

20名のアーティストと科学者 / 交流の端緒の開示 わたしは見、聞き、思考し、交換する

20のユニットと4つの島を設置した特設会場で、20名のアーティストと科学者が、1日を通じてこの先拓かれる可能性を探ります。交流の端緒が開示されます。ぜひご自身も身を投じてみませんか。アーティストと科学者は、予めコーディネートされた5名のアーティスト/科学者と交流を行い、今後のパートナー候補を1名に絞ります。

①アーティストと科学者の対話（配信）

1セッション90分、全10セッション。10組20名のアーティストと科学者の対話を、1組ずつ同時配信します。モデレーターは哲学者が行います。

②アーティストと科学者の対話（ワークショップ）

1セッション90分、全10セッション、定員若干名、要申込。単に①の対話を聞くだけでなく、多様なバックグラウンドを持つ来場者と共にそれが自分にとってどういうことなのか考えてみる時間を持ちませんか。ゴールは設定しません。モデレーターは哲学者が行います。※参加には事前予約が必要です。来場者同士の対話は非公開となります。

1セッションのタイムテーブル（①・②共通）

00:00-00:30	アーティストと科学者の対話（前半）	00:30-00:40	来場者同士の対話 / 視聴者からの質疑
00:45-01:15	アーティストと科学者の対話（後半）	01:15-01:25	来場者同士の対話 / 視聴者からの質疑

2021年6月6日（日）12:00-16:30

日本科学未来館 7階 木星にて 無観客生配信

対象：高校生以上 参加費：無料 申込：ファンダメンタルズウェブサイトから

主催：科学技術広報研究会（JACST）隣接領域と連携した広報業務部会 共催：東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構

助成：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 協力：大阪大学大学院理学研究科

アートワーク：櫻井崇史 デザイン：牧寿次郎 会場制作：奥多摩美術研究所

参加方法

視聴にはファンダメンタルズウェブサイトから視聴申込が必要です。後日のアーカイブ配信は予定していません。ワークショップ（②）への参加には別途参加申込が必要です（6月3日申込締め切り）。なお、ご希望される方にはチラシと参加者総覧兼ポスターを郵送します。視聴申込み時に郵送先をお知らせください。

fundamentalz.jp

美術
うしお
木村亜津
黒沼真由美
澤崎賢一
古谷咲
前川紘士
水上愛美
山根一晃
山本篤
Merhol

科学
石河睦生（医用工学）
石津智大（神経美学）
一ノ瀬俊明（都市環境学）
富田秀一郎（発生生物学）
中島啓（幾何学的表現論）
波多野恭弘（非平衡物理学）
藤田智弘（天体物理学）
水元惟暁（行動生態学）
湊丈俊（表面界面科学）
Hannes Raebiger（物性物理学）

哲学
梅田孝太（ドイツ哲学）
桑原俊介（美学）
小平健太（ドイツ哲学）
永井玲衣（倫理学）

